

## 《OPERA鑑賞会 第6回》

# W.アマデウス・モーツァルト 歌劇『コシ・ファン・トゥツテ』

### <出演>

- ・フィオルディリージ：マーガレット・マーシャル
- ・ドラベッラ：アン・マレイ
- ・グリエルモ：ジェイムズ・モリス
- ・フェランド：フランチェスコ・アライサ
- ・デスピーナ：キャスリーン・バトル
- ・ドン・アルフォンソ：セスト・ブルスカンティーニ

リッカルド・ムーティ(指揮) ミヒヤエル・ハンペ(演出)

ウィーン国立歌劇場合唱 ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団



ザルツブルク音楽祭の歴史の中でも「伝説的公演」と誉れの高い、1983年のムーティ指揮、ハンペ演出による『コシ・ファン・トゥツテ』を収録。

いまだに語り草になっている、ミヒヤエル・ハンペによる、伝統的ながらきめ細かい演出アンサンブルを聴かせるマーシャル、アライザ、バトルらの歌手陣の活躍にも注目だ。

### <あらすじ>

#### 第1幕

舞台は18世紀末のナポリ。青年士官フェランドとグリエルモは、老哲学者ドン・アルフォンソの「女は必ず心変わりする」との主張に対して、「自分たちの恋人に限ってそんなことはない」と言い争う。

ドン・アルフォンソは、自分の主張を証明するために二人と賭けを行なうことを提案し、二人はドン・アルフォンソの指示に従うことを約束する。

フィオルディリージとドラベッラの姉妹が登場、自分たちと恋人の愛を讃える歌を歌う。

そこにドン・アルフォンソが現れ、フェランドとグリエルモが国王の命令で戦場に行くことになったと伝える。

フェランドとグリエルモが現れ、別れを嘆き悲しむふりをする。港に船が着き、兵士たちが出発する。四人の恋人たちが別れを告げ愛を誓う間に、ドン・アルフォンソは「笑いが止まらない」と歌う。兵士たちが出発したあとで、残された三人は航海の無事を祈る。

是非会場でお楽しみください。

日時 / 4月10日(日) 13:30~16:00

場所 / 久寺家近隣センター 多目的ホール

発表者 / 清水 俊一・塚田 繁・佐藤 久男

参加自由・入場無料

問合わせ / 04-7184-3771 佐藤 <http://www.aafc.jp/>